



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月1日

上場会社名 マナック株式会社

上場取引所 東

コード番号 4364 URL <http://www.manac-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 耕也

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長兼管理部長 (氏名) 千種 琢也

TEL 084-954-3330

四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	6,711	6.3	200	44.2	251	34.4	98	6.5
30年3月期第3四半期	6,309	2.5	139	21.7	187	120.2	92	47.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 247百万円 (%) 30年3月期第3四半期 254百万円 (3.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	12.22	
30年3月期第3四半期	11.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	12,047	8,918	74.0	1,110.19
30年3月期	12,640	9,266	73.3	1,153.52

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 8,918百万円 30年3月期 9,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		2.50		10.00	12.50
31年3月期		2.50			
31年3月期(予想)				5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	5.0	350	69.9	400	56.9	280	94.4	34.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

除外 1社 (社名) 南京八幸菓業科技有限公司

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	8,625,000 株	30年3月期	8,625,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期3Q	592,079 株	30年3月期	591,883 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	8,033,018 株	30年3月期3Q	8,033,243 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。海外については、米国を中心とした保護主義的な通商政策が及ぼす影響等から、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下で当社グループは、国内における新規市場開拓及び既存顧客への更なる取引深耕、マナック（上海）貿易有限公司が主体となり、中国をはじめとした海外における取引顧客数の拡大にグループが一体となり積極的に取組んだ結果、売上高、利益共に前年同四半期を上回りました。また、第2四半期連結会計期間において、南京八幸薬業科技有限公司の持分譲渡に伴う減損損失を特別損失に計上しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は6,711百万円（前年同四半期比+401百万円、6.3%増）、営業利益は200百万円（同+61百万円、44.2%増）、経常利益は251百万円（同+64百万円、34.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は98百万円（同+5百万円、6.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①ファインケミカル事業

ファインケミカル事業につきましては、中国における環境規制強化を受け、化学業界において原料調達元を中国品から国内品へ切り替える動きがあり、当社の電子材料製品や工業薬品の需要が増加いたしました。一方、一部治験薬原料において当第3四半期連結累計期間に需要が発生しなかったことなどから、医薬中間体などの販売は概ね前年同四半期を下回りました。また、連結子会社においては、売上高・セグメント利益とも前年同四半期と比較し増加いたしました。

その結果、売上高は2,998百万円（前年同四半期比+200百万円、7.2%増）、セグメント利益は456百万円（同+179百万円、64.7%増）となりました。

②難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、電子材料部材や家電製品に使用されるプラスチック用難燃剤などの需要が増加しており、これに対応するため設備増強及び生産効率化を実施いたしました。また、原料価格や輸送費の高騰に対して価格転嫁を進めていることが一部寄与したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。一方、受託製品の一部において生産調整があったことから固定費負担が増加し、セグメント利益は前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は2,909百万円（前年同四半期比+151百万円、5.5%増）、セグメント利益は332百万円（同△25百万円、7.2%減）となりました。

③ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、人工透析用液剤の原料は安定した国内需要を維持しており、またディーゼル車の尿素SCRシステムに使用されるAdBlue®の販売数量が増加したことから、売上高は前年同四半期と比較し増加いたしました。しかしながら、相対的に利益率の低い製品の売上割合が増加したことにより、セグメント利益は前年同四半期と比較し減少いたしました。

その結果、売上高は802百万円（前年同四半期比+50百万円、6.6%増）、セグメント利益は81百万円（同△15百万円、16.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて593百万円減少し、12,047百万円となりました。これは主に、借入金返済等により預金が減少したこと及び有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて245百万円減少し、3,129百万円となりました。これは主に、返済により借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて348百万円減少し、8,918百万円となりました。これは主に、株価変動によりその他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,718,143	1,444,461
受取手形及び売掛金	3,188,137	3,398,573
金銭の信託	1,255,000	1,150,000
商品及び製品	1,148,319	1,128,345
仕掛品	396,238	337,597
原材料及び貯蔵品	425,793	391,108
その他	178,288	220,447
貸倒引当金	△2,757	△2,995
流動資産合計	8,307,163	8,067,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	760,307	613,653
機械装置及び運搬具(純額)	497,372	454,027
土地	743,918	743,918
建設仮勘定	89,061	100,826
その他(純額)	98,103	57,282
有形固定資産合計	2,188,764	1,969,708
無形固定資産	2,864	92,795
投資その他の資産		
投資有価証券	1,827,602	1,725,738
関係会社長期貸付金	101,600	—
繰延税金資産	5,633	12,615
その他	207,918	179,342
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	2,142,155	1,917,096
固定資産合計	4,333,784	3,979,599
資産合計	12,640,948	12,047,137

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,316,089	1,486,115
短期借入金	921,928	787,882
未払法人税等	32,748	40,559
賞与引当金	120,159	64,671
その他	594,988	531,124
流動負債合計	2,985,913	2,910,352
固定負債		
長期借入金	270,146	126,163
繰延税金負債	61,507	—
役員退職慰労引当金	54,729	54,729
その他	2,255	37,851
固定負債合計	388,638	218,743
負債合計	3,374,551	3,129,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	5,385,213	5,382,926
自己株式	△244,235	△244,339
株主資本合計	8,846,327	8,843,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	286,428	75,624
繰延ヘッジ損益	△2,454	2,537
為替換算調整勘定	136,094	△4,057
その他の包括利益累計額合計	420,068	74,104
純資産合計	9,266,396	8,918,041
負債純資産合計	12,640,948	12,047,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	6,309,955	6,711,388
売上原価	5,021,596	5,311,595
売上総利益	1,288,358	1,399,793
販売費及び一般管理費	1,148,959	1,198,844
営業利益	139,399	200,949
営業外収益		
受取利息	2,080	1,868
受取配当金	31,352	33,897
為替差益	1,070	—
受取ロイヤリティー	4,157	4,081
その他	17,920	30,880
営業外収益合計	56,581	70,728
営業外費用		
支払利息	7,812	7,245
為替差損	—	4,393
その他	728	8,056
営業外費用合計	8,540	19,695
経常利益	187,440	251,982
特別利益		
固定資産売却益	212	—
投資有価証券売却益	5,448	4,796
特別利益合計	5,661	4,796
特別損失		
固定資産除却損	1,765	3,945
投資有価証券売却損	1,336	3,825
関係会社株式評価損	42,959	—
減損損失	—	68,484
特別損失合計	46,061	76,255
税金等調整前四半期純利益	147,040	180,523
法人税、住民税及び事業税	38,557	60,685
法人税等調整額	16,338	21,711
法人税等合計	54,895	82,397
四半期純利益	92,145	98,126
親会社株主に帰属する四半期純利益	92,145	98,126

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	92,145	98,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128,408	△210,803
繰延ヘッジ損益	3,978	4,991
為替換算調整勘定	30,418	△140,151
その他の包括利益合計	162,806	△345,964
四半期包括利益	254,951	△247,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,951	△247,838
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった南京八幸薬業科技有限公司の持分を全て譲渡したことにより、南京八幸薬業科技有限公司は当社の特定子会社に該当しないこととなり、当第3四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報）

I 前第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,798,356	2,758,790	752,808	6,309,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,798,356	2,758,790	752,808	6,309,955
セグメント利益	277,148	357,994	97,372	732,515

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	732,515
全社費用（注）	△593,115
四半期連結損益計算書の営業利益	139,399

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,998,767	2,909,803	802,816	6,711,388
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,998,767	2,909,803	802,816	6,711,388
セグメント利益	456,596	332,319	81,609	870,525

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	870,525
全社費用（注）	△669,576
四半期連結損益計算書の営業利益	200,949

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。